

班通信

No. 8



古代ハス

令和5年7月13日

さいたま市
岩槻班退職校長会
事務局:090-5826-3329 (岡野)

「会員からのお便り」が届きました

山本良光会員からのお便りを掲載します。

会報「はい こんにちは」について 山本 良光

私が退職校長会に加入したのは、平成四年のことでした。当時会長は小林得治先生でした。以来三十年余になりました。この会報は平成十一年二月に創刊号が発行されました。現在二十五号、当時の担当の先生方の素晴らしい発想、その努力は素晴らしいと思います。継続は力なり、美なりと申しますが、当時四十四名の寄稿がありました。

今回の令和五年発行はその表装も新たに、内容益々充実、見違える程立派なものになりました。担当の先生方のいろいろな努力があったものと思われます。心から感謝を申し上げたく存じます。内容も多岐にわたっており、漢詩、儒教、仏教、道徳等の内容、また旅行記、経路誌、など豊富で読み応えある内容になっております。カメラの撮影もすぐれております。今後特集として記念号を出版したらと希望します。予算のこともありますが？。

これからも益々充実発展していくことを希望いたします。

会員の皆さんからのお便りを首を長くして待っていた編集者としては大感激です。これに続くお便りを心待ちにしております。よろしくお願ひします。

今年度の「日帰り研修」の計画 第1報

・実施日 令和5年10月20日(金)

・行き先 筑波研究学園都市

見学候補: JAXA

防災科学技術研究所

・詳細は9月に文書配布します。

*最低実施可能人数は17~18人です。是非今から予定表に記入いただき、多数のご参加をお願いいたします。



～支援可能なことの実践化とその積み重ねを～ 対外連携・支援部会から

「学校・地域と連携する退職校長会」を目指しての取り組みについては、昨年の班通信No.4でお知らせしましたが、ここで活動の現状について報告いたします。

① 岩槻児童センターへの情報・企画の提供

5月11日、正副会長、対外連携支援部員が児童センター館長・職員と話し合い、支援を要するものと提供できるものなどを確認しました。

すでに大河内会員提供の「虫の写真」が掲示板に展示され、利用者に喜ばれています。今後は、長期休業日や土・日を中心に、工作、実験、絵画、書き初めや宿題サポートなどの具体化を進めていく計画です。

② 支援できる内容がわかる“支援リスト”の作成

2年前の「学校及び地域におけるボランティア活動の実態等に関する調査」の結果をもとに、具体的な支援の内容を明らかにし、学校や地域関係者が活用しやすい“支援リスト”を作成します。会員の皆様には再度調査の協力をお願いすることになりますが、ぜひとも理解をいただきたいと存じます。

なお、作成した“支援リスト”は、岩槻区校長連絡会などの場で配布する計画です。(岡野記)

岩槻児童センターの夏休み事業に参画します

① 昆虫写真展 『さいたま市内で見られる 夏・躍動する昆虫たち』 7月1日～9月10日

② ビックリ! 実験ショー 『空気のふしぎ』

8月22日 14時から

・写真及び解説、実験は、大河内会員が提供します。

*夏休み中です。会員の皆様もお孫さんなどと一緒に出かけください。



昆虫写真展

梅雨明け「熱中症」と「コロナ」にご注意を!
「こまめに水分補給」「暑さを避け、十分休息」「手洗い・三密回避」、万全な対策で、この夏を乗り切ろう!。

季節だより ヒルガオ



ヒルガオの花と葉

ヒルガオ(昼顔)はヒルガオ科のつる植物で、万葉集にも「客花(かおばな)」として登場する、日本全土に古くから自生する在来種です。「昼顔」の名前は遣唐使が「朝顔」を持ち帰った後に呼ばれるようになったようです。日当たりのよい野原・道端・空地などで普通に見られ、普通は種子を作らず、白い地下茎が旺盛に伸びて殖えるので、庭や畑の手ごわい雑草になっています。周囲の植物と光を取り合う競争では、双葉が出た後本葉が出る前にいち早くつるを伸ばして空間を占拠します。初夏～夏にかけて日中、薄ピンクの漏斗状の花が開き夕方しぼむ日中花です。少し花が小さいコヒルガオは非常に似ていますが次の特徴があります。①花柄上部に波状のひだがある、②葉は二等辺三角形で、葉の先端と花の基部の包葉の先端は尖る。なお「夕顔」はウリ科の植物で、大きな実は干瓢の原料になります。岩槻周辺で見られるヒルガオの仲間は、帰化植物のマメアサガオ、マルバアサガオ、マルバルコウソウ等です。